

が作品中の未成品は氏が充分なる研究と精確なる智識とより來れる實際の簡略法なれども、全時代の人々はかく自然を視るの明なかりしかば、これを罵倒憤慨したりしなりき。氏は十九世紀の初頃の風景畫家が壯嚴なる古典派に對して告白したる信仰に關する傳説には無論反對

なりき。この理由がコツクス

の長所の一たりしなり。氏丁寫實家にして詩人なり

き。自然界の熱心なる同情者にて、巧に美點を寫出す

人なりき。氏は人の感動したることをまとめんために

導く能力は或は欠けしやも知るべからざれども、自然を觀察するに敏捷にして

決して誤りなき能力はありしなり。氏が作品は氏自身

の意思より出てたるものにて、他派の描法を以て自己の確信を描くことは敢てせざりき。

否能はざるなりき。吾人は氏の率直簡約が今日にあつては氏の最も貴重なる特性として歓迎するなり。これ實に計り難き價值ある技術上の遺風を後世に傳へたるものなればなり。

されど全時に此の遺風の貴重なることを、充分に實現せらるゝ

ことの甚だ遅々たるは明白なり、コツクスの眞價を世人が知りたるは、氏が死後數年を経たる後なりき。(次號完結)

* * * * *



一體 等 山 崎 公 平

△ 繪畫鑑賞法の一節

藝術の諸大家は多くはこれに依りて新作を得べきものなりとして水彩畫に眼を注げり。米國に於ては殆んど年に一回この水彩畫の趣好は畫家を驅りて、其油繪の至難の業を馳せしめ、以て輕快なる曲調の伶人たらしむ。夫れ或は油繪の如く嚴格に非ざるが故に銷事もしくは無價値のものたりとすべからず。これ宛も以太利もしくは佛蘭西の音樂は、

獨逸の音樂と同じからざるが故に全く放棄すべしといふ一斑なり。